

# 知財情報で企業支援

## データベース運用開始

### 北東北3銀行と3大学

青森銀行、秋田銀行、岩手銀行の北東北3行と、弘前、秋田、岩手の3国立大学は11日、大学が保有する知的財産などをデータベース化し、各行の取引先企業に情報提供する取り組みを開始したと発表した。共同研究や新産業創出などを支援する。（岩崎満）

3行と3大学は昨年7月、企業が大学の研究成果を活用することを目指し、提携協定を締結。これまで知財情報などのデータベース構築を進めており、4月から本格運用を開始した。データベースには約300件の知財情報が入っているという。

銀行側は、取引先企業から新技術開発などの相談があった場合、データベースから大学側の研究情報を提供する。企業と大学の研究者を結び付けることで、共同研究や特許の活用などを

後押しする。  
3行は2003年、取引先企業のマッチングなどを

支援する「ネットビックス」を開始。昨年の3大学との提携により「ネットビックスプラス」という枠組みを構築した。

青銀の担当者は「今回のデータベースの運用開始を地域活性化への起爆剤にしたい。大学と企業を仲介する役目を担いたい」と話している。

【東奥日報2017年5月12日5面掲載】

「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」